

Rethink Design Project

第1回万博催事 実務者会議開催レポート

～ともに魅せましょう、万博で～



経済産業省 近畿経済産業局
資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課

Rethink Design Project

第1回万博催事 実務者会議

令和7年7月1日@共創空間 吹上



「関西からRethinkが当たり前になる持続可能な社会」をともに。

サーキュラーエコノミーに挑む事業者が集まり、互いの想いやアセットを掛け合わせて、9月の万博催事を見据えた様々なアイデアを出し合いました。

本レポートでは、その一部をご紹介します。

SPECIAL THANKS

参加事業者・関係者のみなさま



参加事業者

(株)イワタ、甲子化学工業(株)、(株)ごみの学校、サラヤ(株)、日榮新化(株)、(株)リングスター、(株)ワコール、PHI(株)

関係者

サークルデザイン(株)、金沢大学、(株)たがやす、(株)マッシュ(株)ダン計画研究所

プログラム

本日のながれ

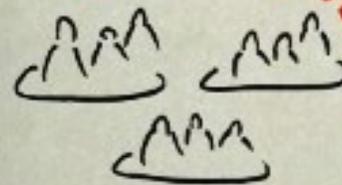
13:00
スタート

局共有

オリエンテーション

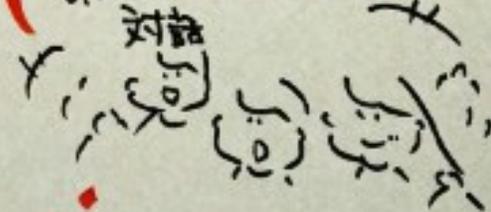
セッション1

グループ対話



セッション2

対話



クローージング

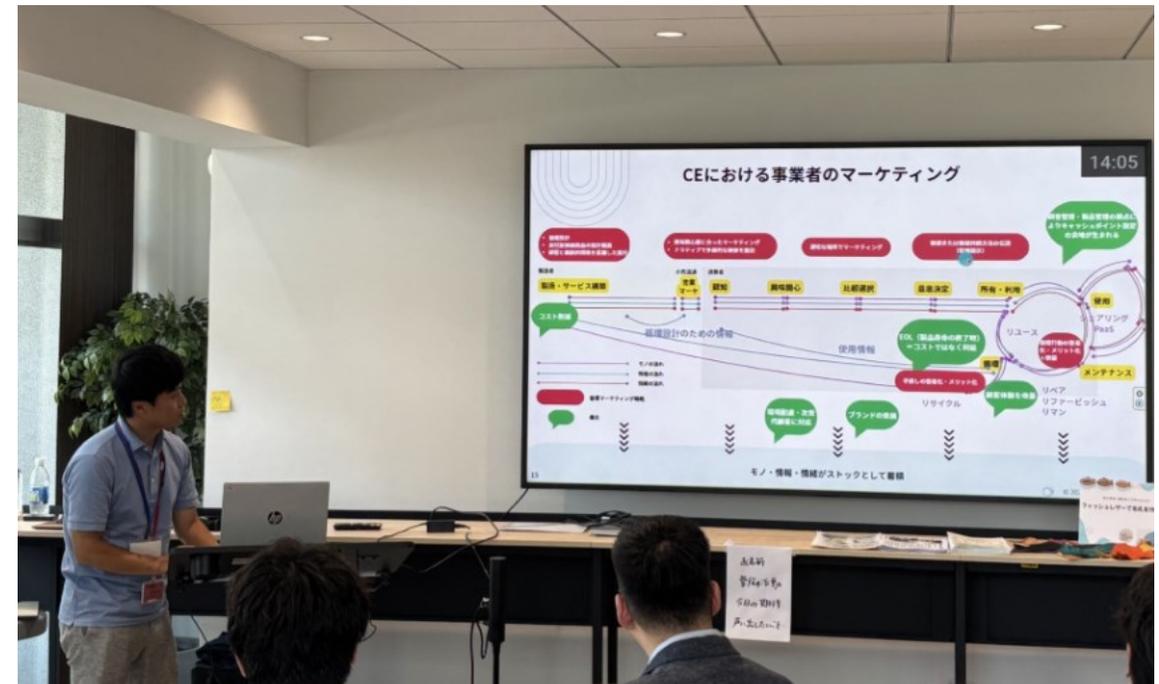
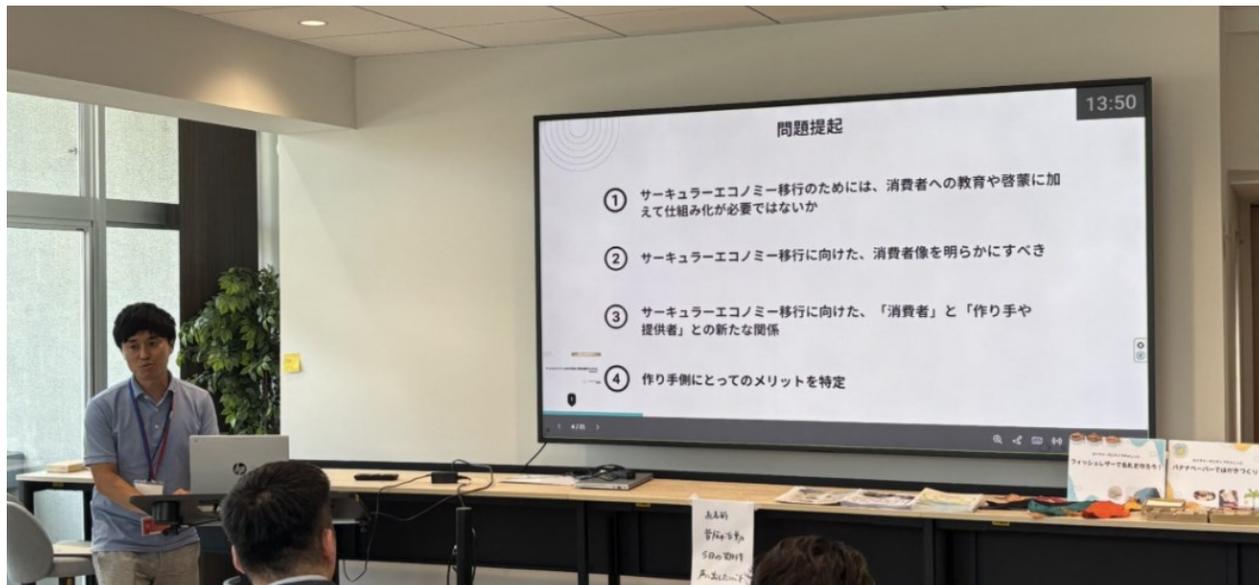
17:30 終了

開会・趣旨説明



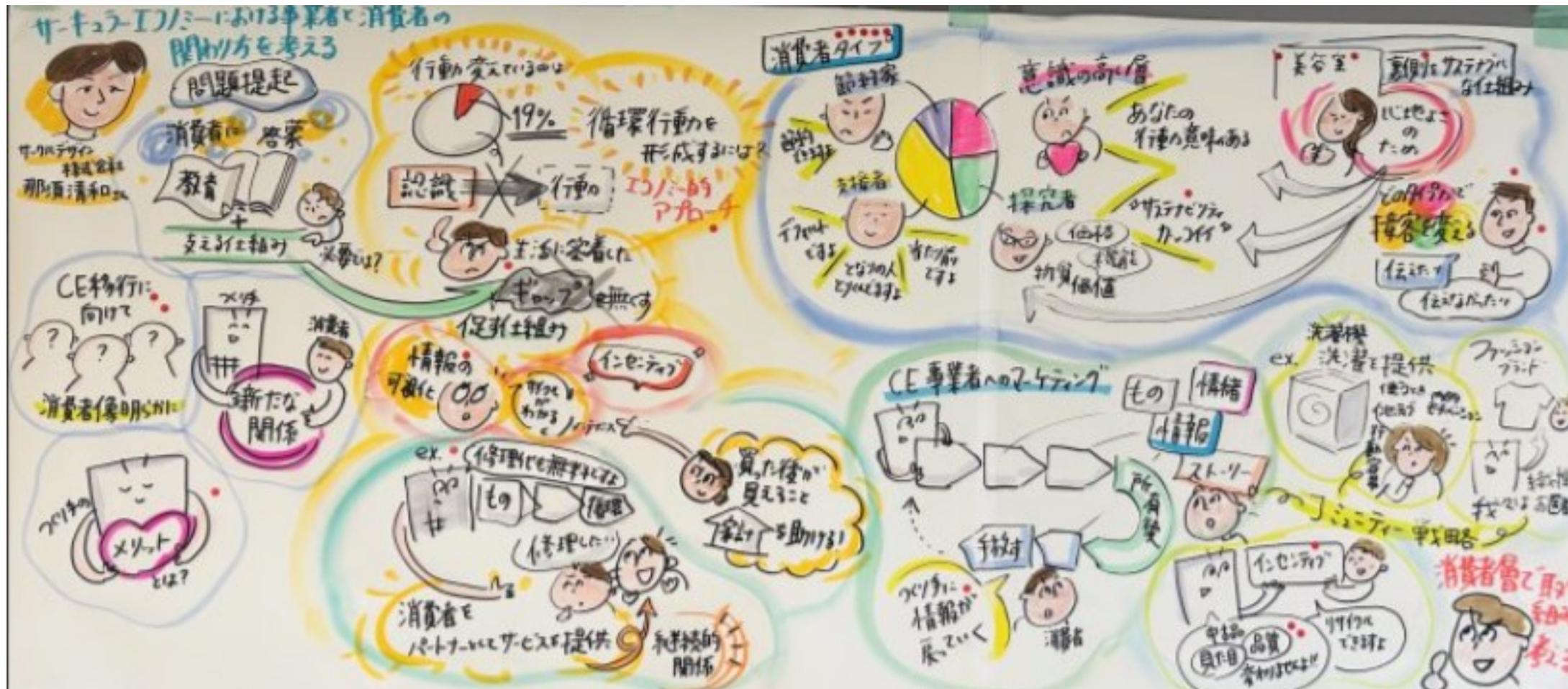
当局から、Rethink Designプロジェクトのこれまでの活動内容を交えながら、価値の作り手の皆様とともに、万博にてサーキュラーエコノミーの重要性を消費者に届けたいとの想いを共有しました。

インプットトーク



Circular Economy Hub編集長 那須氏から、サーキュラーエコノミーを推進するための事業者と消費者の関わり方や、事業者のマーケティングをテーマにお話いただきました。

インプットトーク



Circular Economy Hub編集長 那須氏から、サーキュラーエコノミーを推進するための事業者と消費者の関わり方や、事業者のマーケティングをテーマにお話いただきました。

インプットトーク



次に金沢大学の竹内先生から、サーキュラーエコノミーはじめサステナビリティに対する次代の意識変容に関して、事業者や高校生とともに実施されてきたワークショップでの実践知を交えながらお話いただきました。

グループ対話

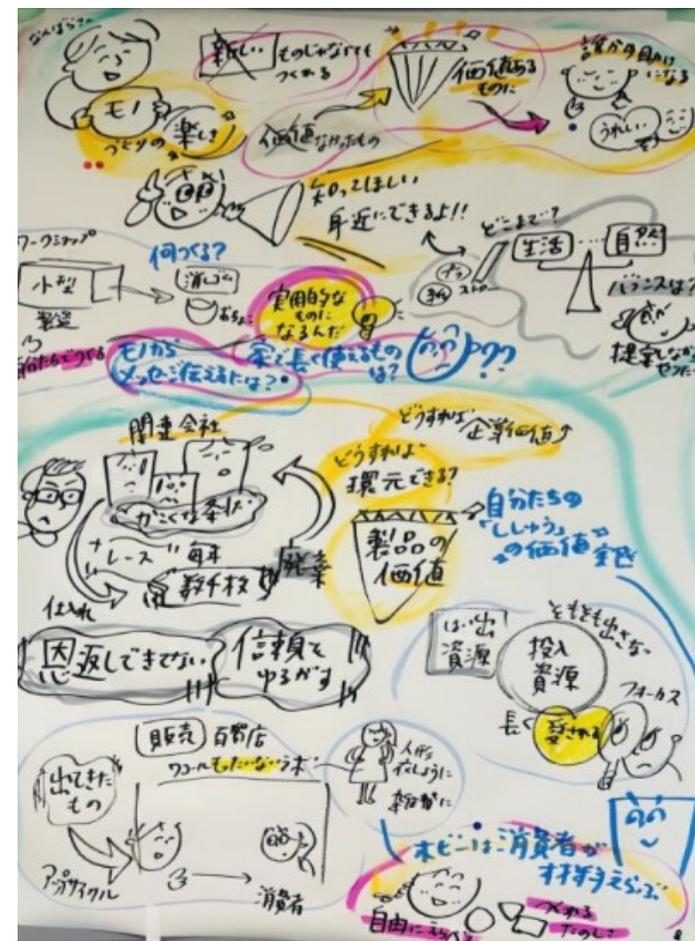
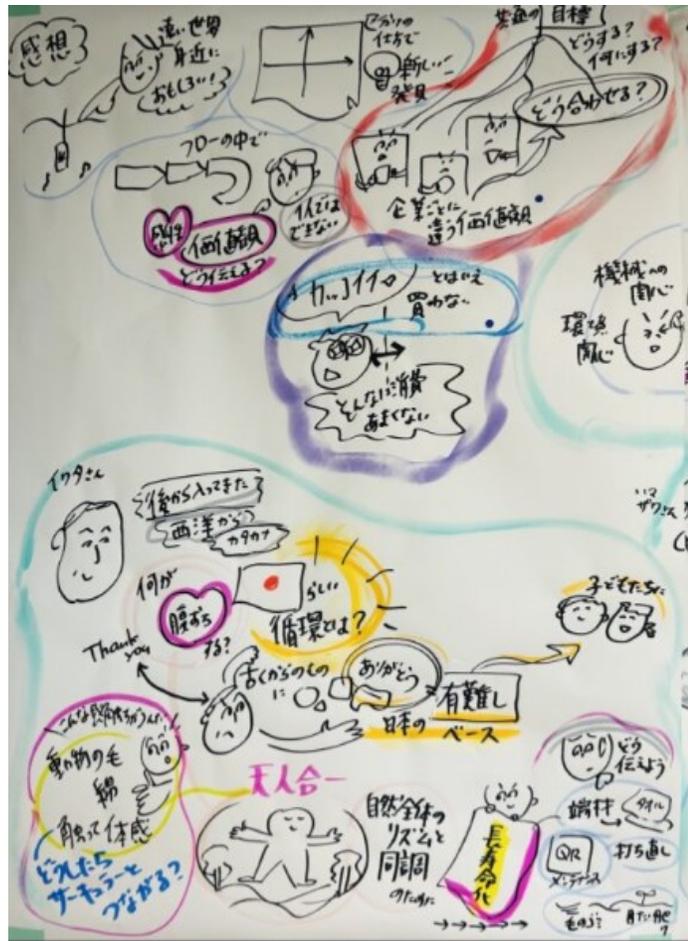
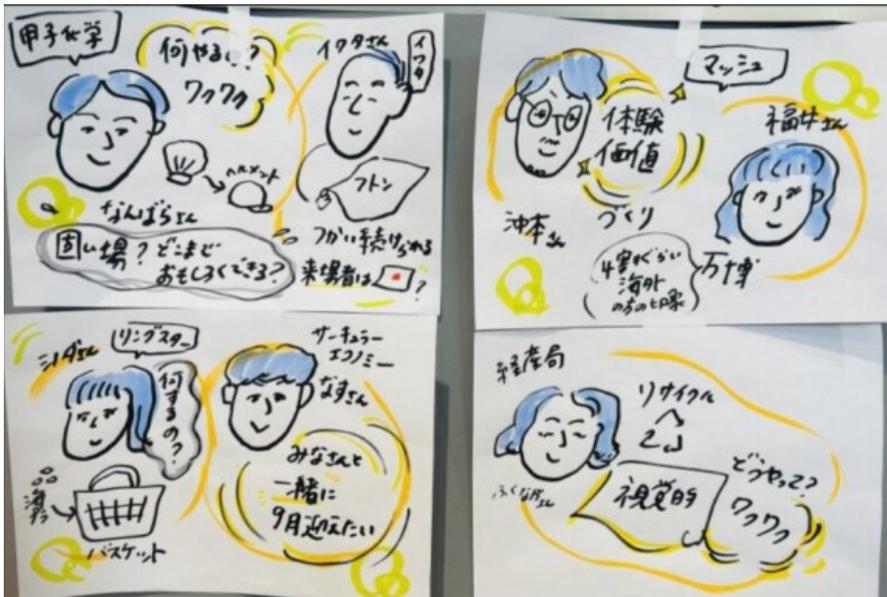


株式会社たがやすの鈴木氏、出村氏、反中氏進行のもと、グループワークを行いました
参加者が3つのグループに分かれ、これまでのプログラムに関する感想を共有しながら、3つの問いから、これまでの実践ストーリーを共有し、それぞれの現状や課題感を可視化し、集約しました。

- Q1 あなたの今の活動を駆り立てるコト・モノ・ヒトは何ですか。活動を続けるうえでの難しさや面白さは何ですか。
- Q2 どのようなアセット(※)をお持ちですか。 ※自身の持つプロダクト、技術、顧客、パートナーなどの資産
- Q3 アセットを実施してきた中での気づきや、手ごたえ、課題は何ですか。

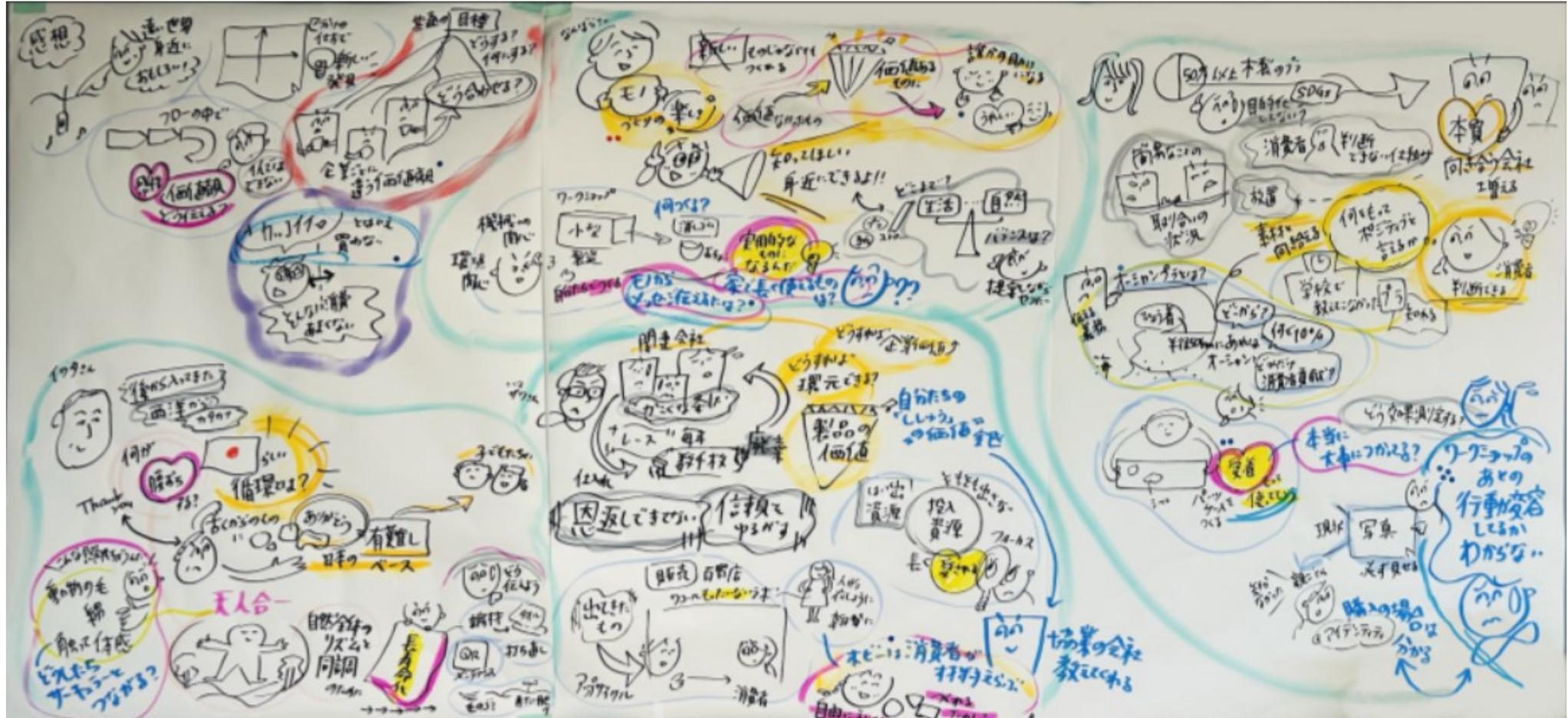
Session1 グループ対話 互いの想いやアセットを知る

Aグループ



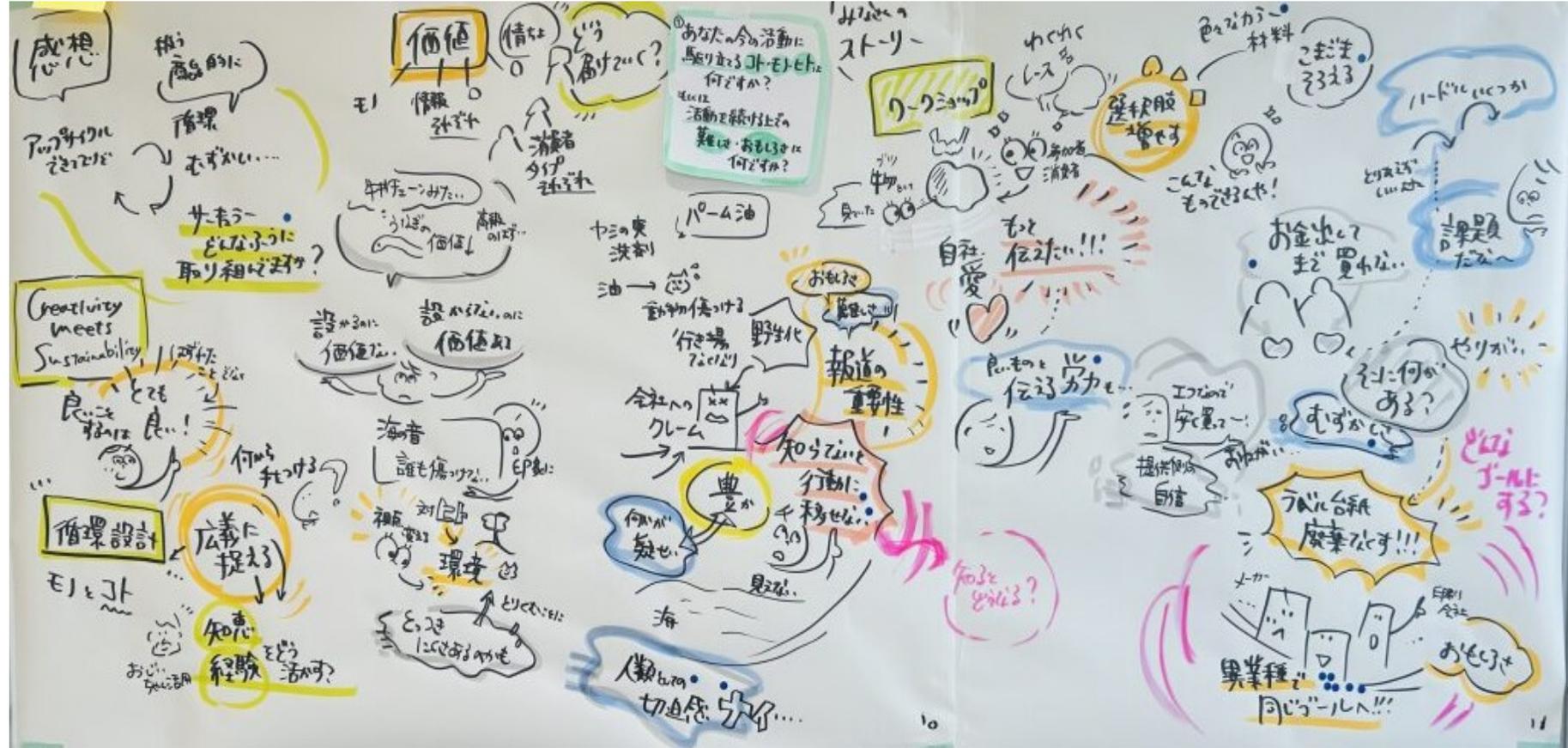
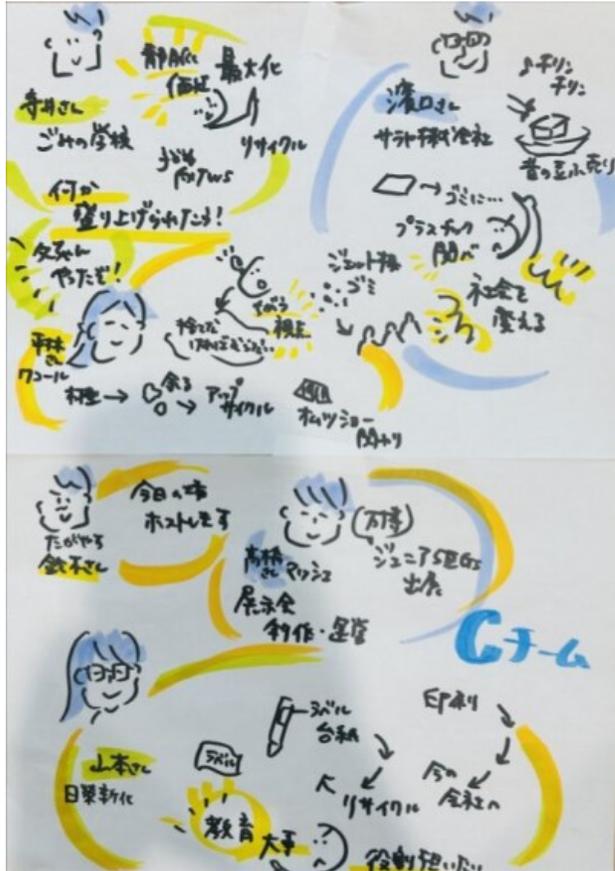
Session1 グループ対話 互いの想いやアセットを知る

Aグループ

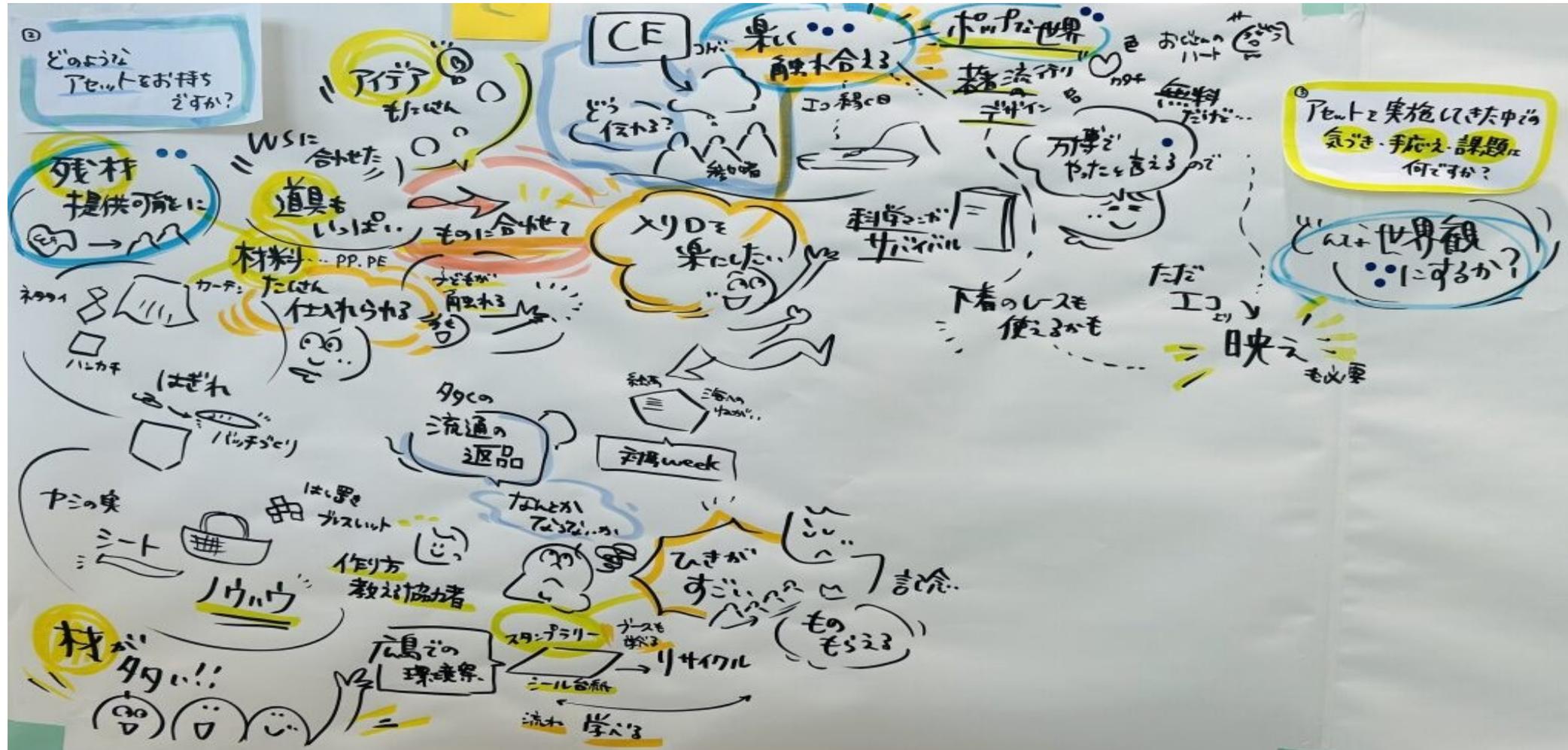


Session1 グループ対話 互いの想いやアセットを知る

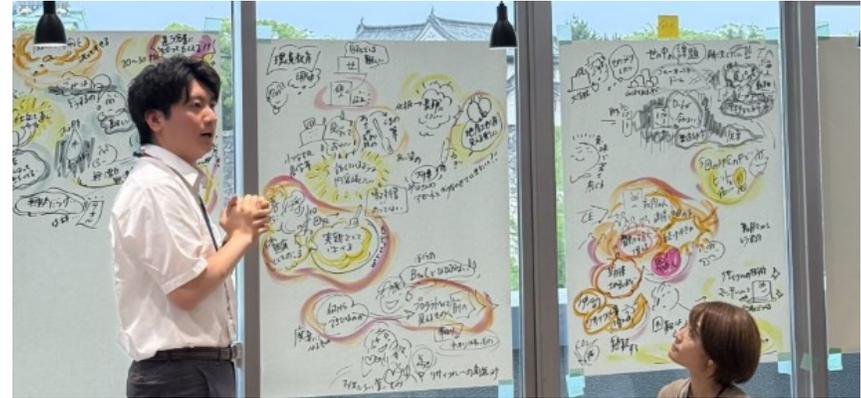
Cグループ



Session1 グループ対話 互いの想いやアセットを知る

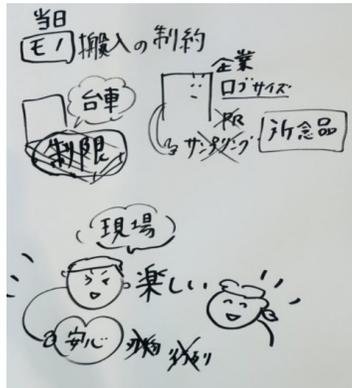
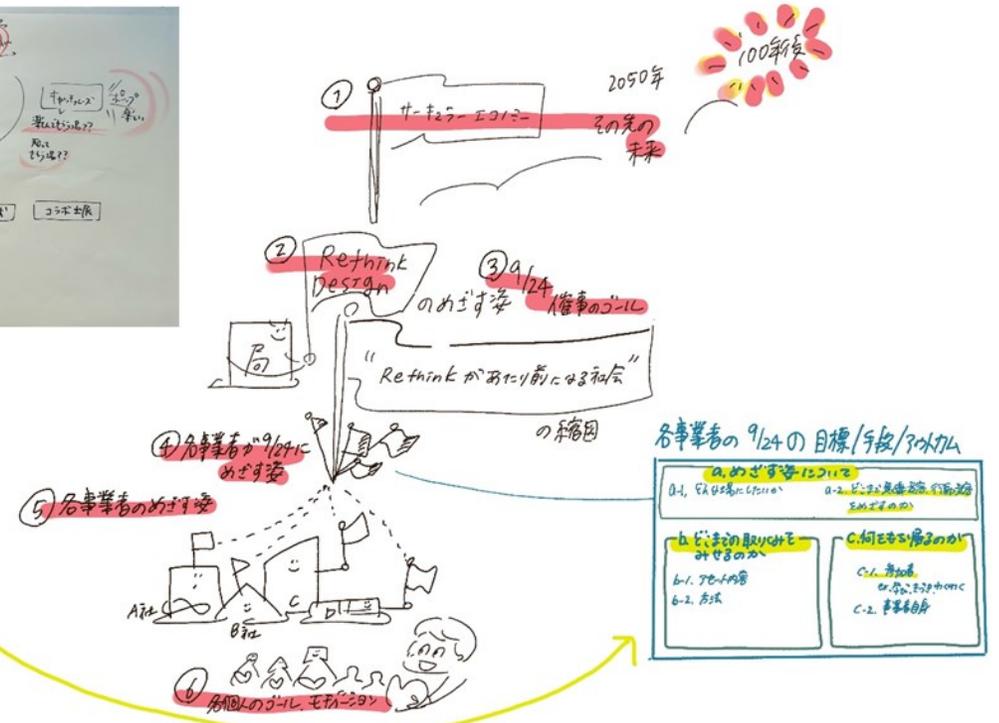
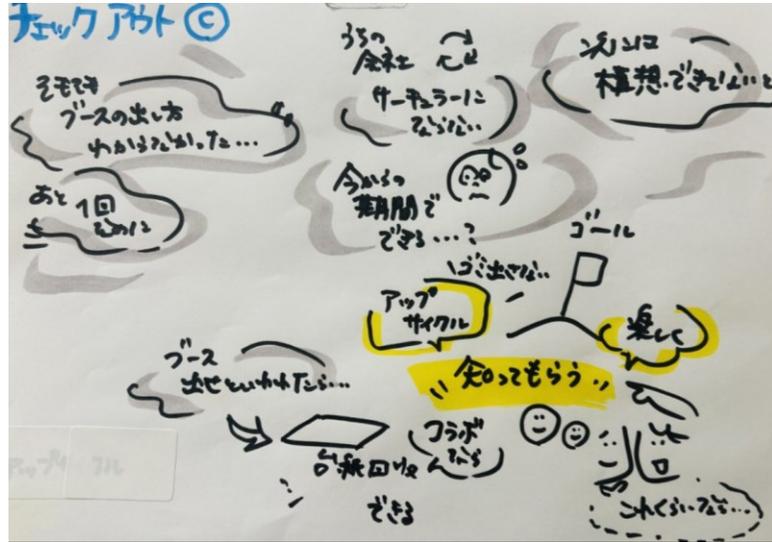


Session1 グループ対話 互いの想いやアセットを知る



グループ対話後には、各グループで出てきた意見などを代表の方々に全体共有していただきました。

ふりかえり 今後の検討事項



全体対話にていただいた意見を踏まえ、次回全体会合までの課題として、誰に対して、どんな目的で何を魅せるのかといった催事全体の狙いやゴールを言語化し、関係者間ですり合わせる必要があることを再認識できました。

ともに魅せましょう、万博で

